

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 20 No 9

230号

平成24年 9月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

日本外来小児科学会年次集会

院長

8月末は毎年、日本外来小児科学会年次集会に参加しています。学会の役員をしているため前日からの参加となり、皆さんにはご迷惑をお掛けしました。お詫びの印として、今年も学会の様子を報告します。

今年の年次集会は8月24日~26日に、パシフィコ横浜で開催されました。この学会は小児科の開業医が中心で、看護師や薬剤師、事務スタッフも参加し、今年も例年を上回り、参加者はついに3000人の大台になりました。



昨年は、「東北地方太平洋沖地震を経験して - 震災レポート -」、「髄膜炎関連ワクチン並びに同時接種見合わせ後の保護者の意識調査」など4つを発表しました。その反動ではありませんが、今年も院内報「かわむらこどもクリニックNEWS」の展示のみとし、スタッフ全員で参加することを目的としました。

24日休診にして、午前中の新幹線で東京へ。まずは、日本外来小児科学会の役員会。役員会のあとは、期待に胸を膨らませての、ディナー・クルーズへ。ディナー・クルーズの名称なので、食事にも高い期待を抱いてたけど、値段が安い分仕方ないところかも...



仙台とは違う酷暑のなかで疲れた身体を癒すために、早めに入浴、就寝。おやすみなさい!

25日は朝から学会参加。広い会場をあちこちうろろし、多くの友人達と挨拶を。10:00にはスタッフと合流。真っ先にホテルで名ばかりのミーティング、当然ながらちょっと一息。

午後の仕事は、日本外来小児科学会総会。役員なので出席は義務。ちょっとした不安と、大きめの期待が??。会長の意向で、大臣表彰が総会で紹介されることに。事前に



総務の先生に、たくさんの資料を送りつけて“頼んだよ!”のプレッシャーも。総務から“時間が無いんですよ”と、何度も泣き言が。にもかかわらず、2-3分にわたって、まるでメインイベントのように紹介の時間を。そして心に残るコメント、“総理大臣官邸というフォーマルな場所で茶色の靴履いているのが川村先生”と、ちょっとウルウルと!。ちょっと意味不明かも(笑)。

夜は、スタッフ全員で中華街での懇親会。さて、懇親会は中華街の別々の店で開催。申し込みが遅かったのとリサーチ不足で、結局は参加枠が最後まで残っていた“重慶飯店別館”。値段と立食ということで、少し不安も持ちながら参加。写真は満足しているように見えるけど?。お料理のほうは...。あえて、コメントを控えます(笑)。



折角中華街まできたので、ちょっと山下公園まで足を伸ばしてみることに。山下公園には警察ザタになった学生時代の苦い思い出が...。恐ろしい記憶が蘇る...と書くと、誰もが聞きたい?。父親が横浜出身。子どもの頃夏休みになると、叔父宅に疎開。氷川丸とマリントワーは、ずっと昔からの定番。苦い思い出と楽しい思い出が交差する、そこが山下公園!



26日は唯一といってもいい仕事。一般演題の座長。座長というと、芝居や演芸などの一座の長を思い浮かべるけど?。学会では、発表の進行や取りまとめを行う役割。座長の大きな役割は、タムキーピングと発表者の内容の評価と慰労。感染症関連の4題を引き受けた。時間は45分、質問がないと淋しいので、質問しやすいような雰囲気を作り。思った以上に質問が多くイライラしながら、でも時間通りに終了。もちろん、あちこちに自慢話もちりばめておいた。座長の役割は全うできたけど、わきの下は汗だらけ。

座長が終わって、ちょっとだけ時間に余裕があったので、30分近く並び「原鉄道模型博物館」へ。模型で、これほど感動するとは?。“継続は力なり”を再認識。

戻りたくはなかったけど、昼食を済ませて会場へ。昨年から取り組んでいるワクチン同時接種の副反応の調査「予防接種副反応調査研究会」の会議に参加。これで、年次集会のすべての日程終了。

夏休みのすぐ後に、お休みをいただきました。休診と知らずに来院した方もいたでしょう。ご迷惑をおかけしました。このように余裕を持って学会に参加するのも、患者さんのご理解とご協力のお陰です。学会で得たものを、これからの診療に生かしていこうと思います。ご理解とご協力、ありがとうございました。

9月のお知らせ

- ・栄養育児相談 12日、26日(水)
13:30~ 栄養士担当 無料
栄養士担当 参加無料
- ・学生実習 7日、28日(金)
ご迷惑を御掛けしますが、
ご協力をお願いします。



『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は夏休みのせいもあり5通のメールでした。数も少なかったのですが、医療相談を紹介します。泉区の匿名さんからの「おたふくの相談です。暑い中、お仕事お疲れ様でございます。おかげさまで、一〇のおたふく風邪はそのまま良くなり、無事夏休みも明け、学校に通っております。恐れてはいたのですが、8月25日あたりから、私の左耳下が腫れはじめました。先生に教えていただいた潜伏期間2~3週間後ということで、間違いなくおたふく風邪がうつったのだらうと、近所の内科で診てもらいました。が、今日になっても熱はまったく出ず、右は全然腫れておりません。左は大きく腫れています。血液検査と尿検査でもアミラーゼは正常値だったそうです。これは一体どういう現象なのだろうかと、不思議に思っているところです…。軽くかかっただけなのでしょうか…。腫れが引くのを待っているところです。お忙しいところ、たいへん失礼いたしました。」相談に関して次のように返事しました。「メールありがとうございます。返事が遅くなりました。基本的には、おたふくと考えていいと思います。理由としては、家族内に感染者がいて接触していること。潜伏期が一致すること。腫れた場所が耳下腺であることという状況では、片方しか腫れなくてもおたふくの診断でいいと思います。希に、遅れて反対側が腫れてくることもあります。どうしても確定をと思えば、抗体値を測定する方法もありますが、治ってしまえば、必要はないことと思っています。もう改善しているとは思いますが、お大事にしてください。」。そしてお礼のメールを頂きました。「ご多忙中にもかかわらず、私の症状についても、教えてくださり、感謝申し上げます。職場におたふくに罹患していない人が複数いたこともあり、病休をいただいております。暑い中、皆、一生懸命働いているのに、複雑な気持ちでございました。川村先生や、スタッフの方々が、いつも私達のために力を尽くしてくださっている姿を思い浮かべました。本当に感謝の気持ちでいっぱいになるばかりです。私も週の後半には出勤できそうなので、また頑張ります!」。いつも思っていますが、親の精神的肉体的健康は、子どもにとって重要な要素です。お母さんに感謝してもらえれば、メールの役割を果たしています。お母さん自身の不安に思ったことでも遠慮無く相談してください。



もう一通は、米国に赴任した渡辺さんからの相談です。スペースが無いので一部のみ紹介します。「川村先生、ご無沙汰しております。先生もスタッフの皆様もお変わりございませんでしょうか? 私たちは元気にしております。〇〇は8月末からいよいよ elementary schoolに通うこととなります。日本では年中さんなのに、もう小学校に入ってしまうとは…。親としては驚きを隠せません。さて、7月17日の日経新聞を読んでいて不安になってご連絡させていただきました。社会面に難治性「側頭葉てんかん」熱性けいれん 原因 東大が解明 という見出しの記事がありました。吸い込まれるように記事を読むと、薬で発作を抑えにくい難治性てんかんの多くを占める「側頭葉てんかん」は、子どものころに風邪やインフルエンザで起こるけいれん(熱性けいれん)によって脳に興奮しやすい神経回路が形成されるのが原因だとする研究結果を、東京大のチームが15日の米医学雑誌ネイチャー・レビュー・電子版に発表した。とありました。(中略) またお母さんの心配性が芽を出したと先生には苦笑いされそうですが、新聞記事が素人にはあまりに断片的で、母として今後どのように対応したらよいか分からないものでしたのでメールをさせていただきました。お忙しいのに申し訳ございません。日本もとても暑いと聞いています。皆様お体くれくれもご自愛くださいませ。」。渡辺さんは相談事だけでなく、いろいろな情報を寄せてくれます。本当に感謝しています。

回答はブログ「こどもクリニック四方山話」に掲載してあるのでご覧ください。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、400人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog**「こどもクリニック四方山話」、**Facebook** ページ、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。



MailNews



Twitter



Facebook



Blog

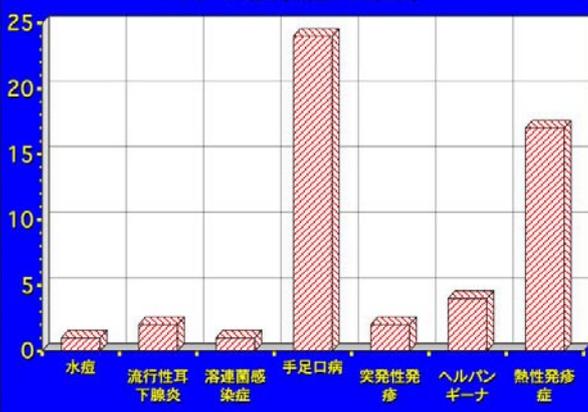
お母さんクラブのご案内 (福沢市民センター)

第3回 9月20日(木) 14:30~

「あなたは大丈夫? 子どもの救急蘇生!」

ダミー人形を使った、消防隊員による体験型講習会です。蘇生だけでなく、AED体験も。会員を優先ですが、一般の方も参加可。事前申し込みが必要です。

8月の感染症の集計



夏休みがあったせいか、水痘おたふくなどはかなり減っています。手足口病が先月の倍に増えています。夏カゼでは発疹が出る例も多く、先月はかなり多くみられています。

編集後記

夏期休暇に続き、学会参加と連続で休みをいただきました。一面記事のように、学会含めて、観光気分も味わえ、スタッフ一同充分リフレッシュできました。これで、これから忙しくなる時期のための充電完了です。ご協力ありがとうございました。

先月号でもお知らせしましたが、不活化ポリオワクチン9月から開始しています。予約の上、接種を受けてください。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』 『お母さんクラブ』を新年度から再開します。現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!